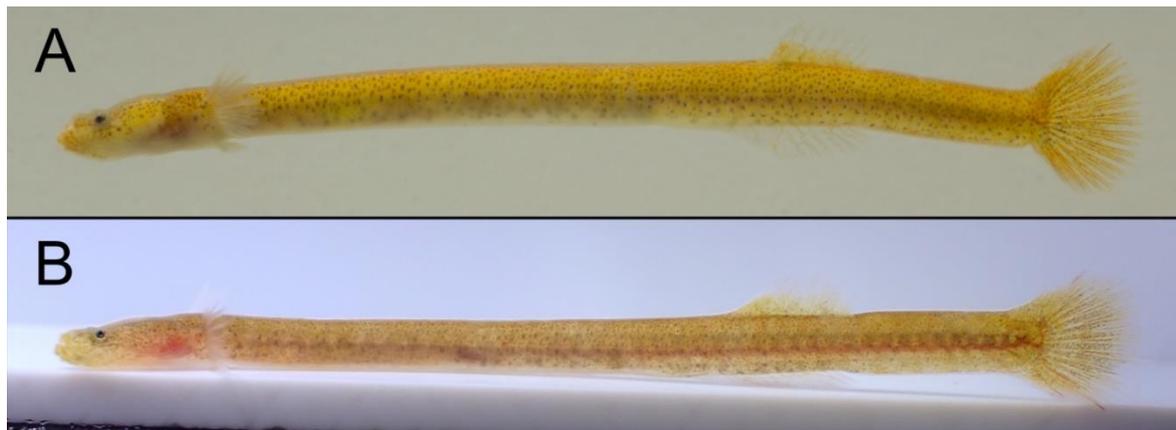


愛媛県から得られたナガミズハゼ種群未同定種 2

齊藤洪成¹・難波拓登²¹ 東京海洋大学魚類行動生態学研究室² 香川県木田郡三木町写真1 *Luciogobius* sp. 16 sensu Shibukawa et al., 2019 ナガミズハゼ種群未同定種 2 (A: KAUM-I. 175932, 生鮮時 ; B: KAUM-I. 175934, 生時)

種の記録

Oxudercidae オクスデルクス科

Luciogobius sp. 16 sensu Shibukawa et al., 2019

ナガミズハゼ種群未同定種 2 (写真 1)

標本 鹿児島大学総合研究博物館魚類標本(3 個体, 標本番号 KAUM-I. 175932, 175933, 175934).

採集年月日: 2022 年 2 月 20 日. 採集場所: 愛媛県伊予市双海町出口川河口. 採集方法: シャベル.

全長 35.7–40.0 mm, 標準体長 31.2–35.1 mm

種の特徴

同定は渋川ほか(2019), 是枝ほか(2022)に従った. 背鰭総鰭条数 11, 臀鰭総鰭条数 12–13, 胸鰭軟条数 10–12. 一部の個体は胸鰭上端に遊離軟条を持つ. 腹鰭は吸盤状で膜蓋が発達する. 生時および生鮮時, 色彩は体の大部分でオレンジ系. 一部の個体は前鰓蓋後縁付近に淡色の斜帯を持つ.

備考

清水(2013)が愛媛県伊予市からナガミズハゼ *L. elongatus* Regan, 1905 として報告した標本は, その形態の記述から, 複数種が混在している可能性がある. 特に, 図示された標本(TKPM-P 23084)はナガミズハゼ種群未同定種 2 である可能性が指摘されている(是枝ほか, 2022). 一方, 本種は複数の近縁種が知られており(渋川ほか, 2019), 正確な種同定は各部の観察や色彩に基づいて行う必要がある.

今回, ナガミズハゼ種群未同定種 2 が愛媛県の瀬戸内海沿岸に分布することが改めて確認された. 本種は静岡県から鹿児島県屋久島までの太平洋沿岸, 鹿児島県の東シナ海沿岸, 瀬戸内海沿岸から記録されており(是枝ほか, 2022), 瀬戸内海沿岸では愛媛県伊予市からのみ記録されている.

本報告で用いた標本は, 出口川の感潮域が干出した際に, 滞筋の河床を掘り起こすことで採集された.

引用文献

- 是枝伶旺・古橋龍星・山下龍之丞・本村浩之. 2022. 九州南部と屋久島から採集された分布南限を更新するナガミズハゼ種群未同定種 2 *Luciogobius* sp. 16 sensu Shibukawa et al. (2019) の記録. *Ichthy*, 25: 13–26.
- 渋川浩一・藍澤正宏・鈴木寿之・金川直幸・武藤文人. 2019. 静岡県産ミズハゼ属魚類の分類学的検討(予報). *東海自然誌*, 12: 29–96.
- 清水孝昭. 2013. 愛媛県瀬戸内海域より初記録の魚類. *南予生物*, 17: 14–35.

(2022 年 10 月 28 日受理, 2022 年 10 月 28 日公開)

連絡先: 齊藤洪成 (e-mail: r181026@edu.kaiyodai.ac.jp)
(Hironari Saito and Takuto Namba. 2022. Record of *Luciogobius* sp. 16 sensu Shibukawa et al., 2019 from Ehime Prefecture, Shikoku, Japan. *NS Fieldnote*, 22016)